

J-POWERグループ環境目標・実績

マテリアリティ▶



○ 気候変動問題への取り組み

	目標	2023年度の主な実績	評価
CO ₂ フリー電源の 開発加速化	2025年度までに1,500MW以上開発※ ※2024年6月 目標を以下に見直し 「2030年度までに国内再生可能エネルギー発電 電力量 年間+40億kWh(2022年度比)」	2025年度1,500MW新規開発目標(2017年度比)に対し、 運転開始、建設着手、調査等着手案件の合計は2,638MWとなり、達成に目途。 2023年4月以降の主な運転開始案件 ※()内は持分出力 新仁賀保高原風力発電所(24.75MW)、石狩八の沢ウインドファーム(14.7MW)、鬼首地熱発電所(14.9MW) など - 建設着手済み 響灘洋上風力プロジェクト(最大88MW)、響灘太陽光(約30MW)、姫路市大塩太陽光発電所(約2MW) など。 その他既設水力・風力発電所のリパワリングなども実施しています。	推進中
	安全を大前提とした大間原子力計画の推進	- 大間原子力計画は安全強化対策などの検討を進め、新規基準への適合性について審査対応を行いました。 - あわせて地域の皆様のご理解や信頼を得るための取り組みを実施しました。 2024年後半に安全強化対策工事を開始し、2029年後半に終了を目指しています。	推進中
温室効果ガス(GHG) 排出量削減	2025年度までに 国内発電事業からのCO ₂ 排出量 ▲920万t(2013年度実績比)	2023年度CO₂排出削減量は▲1,509万t(排出量3,368万t)となり、2025年度目標を達成 ※2013年度実績比 火力発電所のミドル運用化による利用率の低下、設備トラブルも重なったため、 引き続き着実に2025年度目標達成を目指します。 - バイオマス混焼(竹原火力新1号機)の拡大、経年化石炭火力の稼働抑制の検討を進めています。 2024年度末に既設松島1号機の廃止、2号機をGENESIS松島計画の工事準備に伴い休止することを公表。	推進中
	2030年までに 国内発電事業からのCO ₂ 排出量 ▲2,250万t(▲46%)(2013年度実績比)	- バイオマス混焼の拡大、アンモニア混焼の導入、国内CCSの実現、経年化石炭火力の稼働抑制・廃止に向けた 検討に取り組んでいます。 - CO₂フリー水素発電の第一歩であるGENESIS松島計画では、既設発電所に石炭ガス化設備を追設するべく 2021年9月から環境アセスメント手続き中。	推進中
	2030年度までに 省エネ法火力発電ベンチマークの達成	2030年度ベンチマーク達成に向け、既設火力発電所における高効率運転の維持およびバイオマス導入拡大・ アンモニア混焼実用化の検討に取り組んでいます。 2023年度実績 電力供給業 A指標: 0.930 B指標: 38.1% ----- 石炭火力電力供給業: 39.16%	推進中

J-POWERグループ環境目標・実績

マテリアリティ▶



○ 地域環境問題への取り組み

🏆 達成不十分 🏆🏆 概ね達成 🏆🏆🏆 目標達成

	目標	2023年度の主な実績	評価
循環型社会形成の推進	産業廃棄物の有効利用率 97%程度	94.8% 発電所の保守・運転等に伴い発生する産業廃棄物の削減および大部分を占める石炭灰の有効利用に取り組みました。	🏆🏆
	廃プラスチックの排出抑制と 再資源化等の推進	廃プラスチックの排出と再資源化等の状況について把握するとともに、分別の徹底や処理の見直しなどにより排出抑制と再資源化等の推進に取り組みました。	🏆🏆🏆
生物多様性の保全	事業活動における 生物多様性の保全への配慮	希少種をはじめとする動植物およびそれら生息・生育地を保全するため、希少種の生育地に保護区画を設ける、工事区域周辺の希少動植物の情報を工事関係者に共有して保護に努めるなど、生物多様性に配慮した環境保全に取り組みました。	🏆🏆🏆
水環境の保全	事業活動における河川および 海域環境の保全への配慮	河川に係る発電設備の運用にあたり、各地点の状況に応じた堆砂処理対策や濁水長期化軽減対策などの河川環境保全の対応を着実に実践しました。海域に隣接する発電設備の運用にあたり、環境保全協定などを遵守し、海域への排水水の管理を的確に実践しました。	🏆🏆🏆

○ 透明性・信頼性への取り組み

	目標	2023年度の主な実績	評価
環境マネジメントレベルの向上	EMSの継続的改善	確実にPDCAを実践し、環境マネジメントレベルの向上に取り組みました。	🏆🏆🏆
環境法令・協定などの遵守徹底	環境法令・協定などの重大な違反件数ゼロ	環境法令遵守の徹底に努め重大な違反事案はありませんでした。引き続き、グループ全体で環境法令遵守の徹底を図っていきます。	🏆🏆🏆
環境コミュニケーション活動の推進	地域社会や社内での 環境コミュニケーション活動の推進	植林や地域清掃などの環境保全活動を通じて、地域との共生を目指した、信頼関係の構築に取り組みました。また社内においても、環境情報交流会や環境教育を通じて、環境コミュニケーションの充実を図りました。	🏆🏆🏆